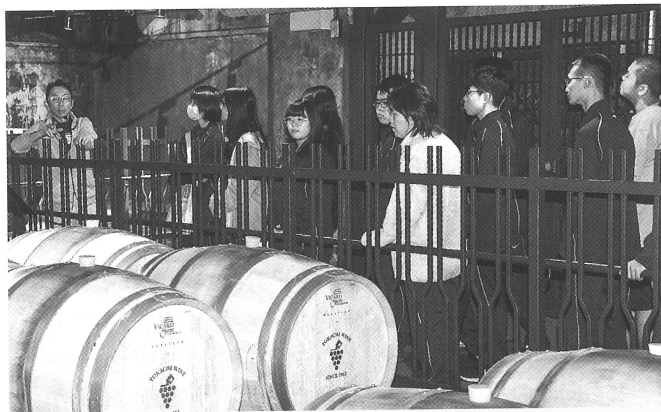




## 池田高1年生がワイン城を見学 「ワイン学」で町の歴史を体感

池田高校（富永学校長、生徒66人）の1年生を対象に、ワイン事業について学ぶ「ワイン学」が10月20日に行われ、ワイン城の製造施設などを見学しました。

高校の特色づくりの一つとして、町を代表するワインについて学ぶ授業を昨年から実施。1年次の必修科目「科学と人間生活」の5時間を使い、十勝ワインの歴史やブドウ栽培、ワインの製造工程について学びます。

この日、東徳製造課長の町の歴史を交えながら、十勝ワインやブランド、スパークリングワインの製造工程について説明。オールドビンテージワインが眠る研究所の地下熟成室などを見学し、生徒たちは熟成の香りが漂う空間で町の歴史を体感しました。

見学を終えた山本彩織さんは「製造過程で除いたブドウの茎も肥料として使い道があるなど、実際に話を聞くことで新たな気づきがあった」と話していました。

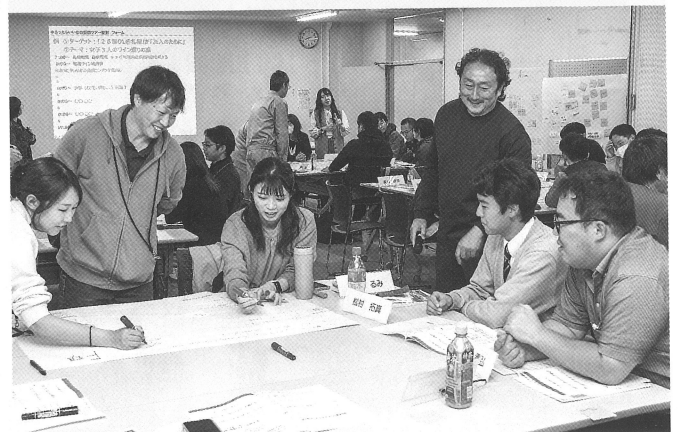
## 池田町の未来を描く ビジョンマップづくりを開始

町は10月21日、地域ブランドディング事業「ビジョンマップ策定ワークショップ」を社会福祉センターで開催しました。

この事業は、池田町の地域資源を関連させてブランド化を図り、町内外に発信する中で関係人口や定住人口を創出することが目的。事業開始となる本年度は、北海道プロデュース（常広市）の中村真也代表理事を講師に招き、町のありたい姿やあるべき姿を未来図として

可視化するビジョンマップの作成に取り組みます。2回目の開催となったこの日、町民や町職員ら参加者41人が6グループに分かれ、「池田町にあったらいいモノ、コト、妄想ツアー」をテーマに話し合い、町の未来に思いをはせました。

参加した松村拓真さん（池田高1年）は「今日話したことが、大人になった時に少しでも実現できていたらうれしい」と話していました。



## 旧利別小学校で「2025ハロウィーンパーティー」と「こどもの足育計測会」(10月26日)



物作り体験

池田高校の生徒有志らが町子ども夢事業を活用し、「2025ハロウィーンパーティー」(実行委員会主催)を旧利別小学校で開催しました。

子ども向けのイベントを実施したいという生徒の思いから、昨年に続き2回目の開催。ジャック・オー・ランタンやキラキラスライムなどの物作り体験、お化け探しや射的などのミニゲーム、ハロウィーンクイズやビンゴゲームが行われ、会場に訪れた約60人が多彩な催しを楽しみました。

また、町が本年度から実施する「こども・みらい事業」の一環として、ベビー服・子ども服ブランドのミキハウスのシューズアドバイザーを招き、「こどもの足育計測会」も行われました。



足育計測会

## 池田高校吹奏楽部

部長 美濃 紗来さん(3年)

### ★活動内容を教えてください

部員は5人(3年生1人、2年生1人、1年生3人)で、毎週火～土曜に練習しています。池田高校吹奏楽部発祥の、踊りながら演奏する「ダンス&プレー



(ダンプレ)」を中心に、公演に向けて一丸となって日々練習に励んでいます。

### ★活動していてうれしかったことは？

公演で自分たちの演奏を聴いた観客の皆さんが笑顔になっている姿を見るのがうれしいです。

また、池田・足寄・本別高校の3校合同バンドとして、8月に吹奏楽コンクールの全道大会に出場できたことが思い出に残っています。

### ★活動していて大変だったことは？

ダンプレやマーチングに取り組む全道の高校5校が集まる演奏会「MDPサミット2025 in Obihiro」



が5月に開催された際は、練習の傍ら当番校として運営面にも取り組んだことが大変でしたが、普段交流できない他校のバンドから刺激をもらい、とても良い経験になりました。

### ★町民の皆さんにPR!

現在、12月14日(日)に田園ホールで開催予定の「北海道池田高等学校吹奏楽部第56回定期演奏会」に向けて練習に取り組んでいます。

3年生にとっては最後の舞台ですので、ぜひ見に来てください!!